

令和3年度 秋田県立聴覚支援学校 I C T 活用実践 公開研究会スライド資料

幼稚部・小学部・中学部
・高等部・高等部専攻科
・寄宿舎・支援部



1

I C T 活用実践紹介

幼稚部



2

幼稚部3～5歳児合同保育 「なつまつりの おはなしを するよ」



パワーポイントをモニターで表示 / アニメーション機能を使ってイラストや写真、文を提示

視点 1

- ・提示されたイラストや文から主体的に情報を得る。
- ・パソコンで情報を伝えることができることを知る。

視点 2

- ・教師の話と視覚的情報から内容を理解しようとする。

成 果

- ・興味をもって考えながらイラスト等を見ることができた。
- ・モニターと同じ情報を黒板にも提示し、幼児が確認できるようにした。

3

3 歳児学級保育 「おはなししよう、かこう」



iPadを使って写真を提示

視点 1

- ・iPadで写真を見たり、拡大したりできることを知る。
- ・写真を見ながらやり取りし、主体的に情報を得ようとする態度を育む。

成 果

- ・印刷物より幼児の興味・関心が高まった。
- ・自分から「みたい」と話したり、拡大により小さなことに気付いたりして話すことが増えた。

4

4 歳児学級保育「いもほりをしよう」



iPadで天気予報の検索アプリを使って提示

視点 1

- ・タブレットで天気予報を知る（調べる）ことができることを知る。
- ・活動に向け、ICT機器が有効であることを経験する。

成 果

- ・行事の前に、家庭でテレビやタブレットなどで天気予報を見ることをお願いしたところ、事前に親子でスマートフォンで調べた上で臨んでくれた。

5

4 歳児学級保育「えんそくの えを かこう」



パソコンとモニターを使って
写真を提示

視点 1

- ・パソコンを使って写真を見ることに興味をもつ。
- ・写真を見て描きたいことを決めたり、イメージを膨らませたりする。

成 果

- ・モニターに写真を映すことで興味をもって見たり、遠足について話したりした。
- ・絵日記も手元に置くことで、意欲的に絵を描いていた。

6

4 歳児個別指導「どうぶつの なきごえを きくよ」



スマートフォンで「動物の声」の
アプリを使って提示

視点 1

- ・聴覚を活用して主体的に情報を得る態度を育む。
- ・スマートフォン（タブレット）で聞いて楽しむことができることを知る。

成 果

- ・機器使用で、興味とよく聞こうとする気持ちが高まった。
- ・時間をかけずに再生でき、聞く活動に取り組むことができた。

7

5 歳児学級保育「えんそくに いこう」



パソコンを使って
写真を提示



視点 1

- ・すすんで情報を得ようとする力を育てる。

成 果

- ・パソコンで提示することで印刷物よりも関心を持って見た。
- ・印象深い写真は繰り返し自分から表現した。
- ・場面を思い出しながら絵に描いて表現することができた。

8

5歳児個別指導「どうぶつの なまえを おはなししよう」



iPadでPagesの機能を使って提示

視点 1

・興味のある動物の写真を拡大し、視覚的な情報が得られるようにする。

成 果

・印刷物よりも興味をもっていた。
・iPadの操作に慣れており、自ら画面を操作する様子が見られた。

9

I C T 活用実践紹介

小学部



10

第2・3学年 国語・算数科「せんせいとおはなししよう」



iPadアプリ「なぞっておぼえる！
ひらがな」で教師と学習



学習したことの確認

視点 1

・学習したことの定着を目指す

視点 2

・楽しみながら学習できる→意欲の向上

成 果

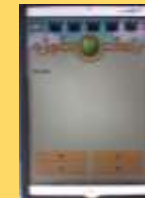
・学習への意欲の高まり
・時間いっぱい座って学習

11

第4学年 算数科「合わせていくつ～答えが100までの数～」



「ピノバ算数」を使って答え合わせ



iPadの画面

視点 1

・計算の正誤を自分で判断

視点 2

・ゲーム感覚で学習を進められる
→学習に対する集中力、持続力、意欲の向上

成 果

・意欲と集中力が高まり、正答率が上がった
・次時への意欲へつながった

12

第4学年 国語科 「書いてみよう③」算数科「かぞえてみよう!」「〇個ください」



「なぞっておぼえる! ひらがなカタカナ」を使ってひらがなの練習

視点1

- ・平仮名の読みや書字の定着を図る
- ・物と数との対応や数量の理解の定着を図る

視点2

- ・手話や文字以外に、映像からもイメージを習得
- ・歌っている様子の撮影→客観的な振り返り

成果

- ・苦手なことでも意欲的に取り組む様子が見られた
- ・線を注視し、目と手を協応させることができた

13

第4学年 生活単元学習 「しらべてみよう! ぼくらのまち」



「グーグルマップ」を自分で操作

視点1

- ・自分たちでのiPad操作→意欲
- ・正しい文字選びと平仮名入力
- ・遠近や位置関係を大まかに捉える

視点2

- ・航空写真の活用→より具体的なイメージへ

成果

- ・航空写真を楽しみにし、意欲的に学習できた
- ・知っている場所や建物を見つけて「〇〇の近くだ」などの気付きが見られた
- ・距離を感覚的に捉えることができた

14

第4学年 図工科 「さくひんをかんしょうしよう」



iPadの写真アプリで好きな作品を撮影



気に入ったところを紹介

視点1

- ・選ぶ数を決めて、意欲的に鑑賞
- ・iPadの操作能力向上（教師の支援を受けて）

視点2

- ・iPadの画面を見せ合う→イメージの共有

成果

- ・観点をもって、意欲的に鑑賞できた
- ・互いの好きな作品を知り、やり取りできた

15

小学部合同 音楽科「みんなでうたおう」



振り返りの場面で書画カメラを活用



電子黒板の映像を真似てイメージをもって歌う

視点1

- ・電子黒板の活用→T1も児童の近くで指導できる
- ・書画カメラ→互いの頑張りや課題点を共有

視点2

- ・手話や文字以外に、映像からもイメージを習得
- ・歌っている様子の撮影→客観的な振り返り

成果

- ・手話を覚え、歌詞のイメージをもつことができた
- ・GIカメラの活用→花丸などで即時評価

16

小学部合同 日常生活の指導「からだづくりたいむ」



「YouTube」で細かい動きも分かりやすい



視覚情報を得やすい

視点 2

- ・視覚情報を得ながら、毎日繰り返し体を動かすことで定着を図ることができた

成果

- ・見通しや期待感をもち、楽しみながら様々な体の動かし方ができた
- ・模倣する力が付いてきた
- ・前向きな気持ち→「間違えてもいいからやってみよう！」
- ・体の使い方の習得→日常生活で使う力へのつながり

17

I C T 活用実践紹介

中学部



18

第1学年 生活単元学習「じゃがいもで調理しよう」



生徒がアンケートをとる様子を
i P a d で動画撮影

視点 1

- ・学習への見通しや振り返りに記録した動画を活用
- ・行動を可視化し、言語化することで語彙力向上

視点 2

- ・声の大きさや人との接し方を動画で確認

成果

- ・映像を見ることで、生徒自身の気づきがあった。
- ・教師が、生徒の変容や学習成果を記録・評価できた。

19

第1学年 社会科「アフリカ州をながめて」



グーグルアースを使って、
アフリカ州を概観



グーグルアースの画面

視点 1

- ・地図アプリを活用して、自然の特色を概観
- ・雨温図などの資料の読み取り

成果

- ・アフリカ大陸を鳥瞰することで、学習意欲や興味関心が高まった。
- ・着目させたい部分を切り取り、効果的な資料の活用ができた。

20

第1学年 数学科「拡大図と縮図」

同じ地図でも縮尺の違うものではスケールバーが違うことを自分で操作しながら比べられた。

iPad
(Googleマップ)



視点1	・拡大や縮小について学習したことを活用する力
視点2	・日常生活場面での活用
成果	・（縮尺を活用して）実際の長さを求められた。 ・日常生活の中でも拡大と縮小が用いられていることを知った。

21

第1学年 理科「白い粉末の見分け方」



iPadでACflipを使っでの提示

視点2	・自分が書いた文の伝わりにくい部分を知り、正しい表現方法を確認できる。
成果	・生徒のノートをカメラで写し、モニターに提示することで発表内容の板書の時間短縮ができ、受け手（教師）による解釈のずれもない。また、直接画面上で線を引いたり、書き加えたりして、生徒に示すことができた。 ・書いて表現する場面だけでなく、他の活動場面でも『「下がる」と「下げる」の違いは何ですか?』等と自分から積極的に質問するようになった。

22

第1学年 英語科「IやYou以外の人や物について伝えよう」



iPadでZoomのチャット機能を使って対話



チャットの画面

視点1	・正しく英文を書く力、書き言葉でのコミュニケーションを図る力の向上
視点2	・確実な伝え合い
成果	・機器の設定 ひとりでできるようになった。 ・英語を使った双方向のやり取りが可能になった。

23

第1学年 総合的な学習の時間「体験発表会」



iPadのアプリ「ジャムボード」を使って自分の考えをまとめ、資料を作成

視点1	・付箋機能を使うことで、ポイントを絞って考えを述べる力を高める。 ・自分で設定して使うことで、iPadの操作能力を高める。
視点2	・教師からの確認やコメントを付箋で行うことで、少ない指摘で学習を進める。
成果	・教師からの質問が観点となり、「いろいろな仕事を知ることができたか」「自分にもできそうか」について、考えをもつことができた。ピンク付箋でさらに質問されたことについて回答し、内容が少し具体的になった。

24

I C T 活用実践紹介

高等部



25

全学年 自立活動（合同）

「こんなとき、どうする？ ～ホテルで火事編～」



iPadのKeynoteで、アニメーションを作成。サイトのURLを挿入。

電子黒板の書画カメラで発表内容を共有。

視点 1

- ・学習課題を正しくつかみ、進んで思考する
- ・様々な情報に触れて、興味・関心を広げる

視点 2

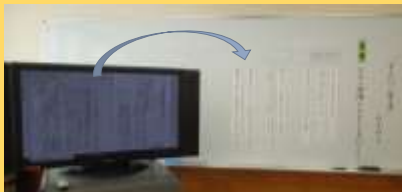
- ・文字の提示による確実な伝え合い

成果

- ・考える「状況」を理解し、主体的に取り組んだ。
- ・瞬時に新しい情報に触れ、興味・関心が高まった。
- ・発表内容の理解が深まった。

26

普通科 第2学年 国語科 「字のない葉書」



教科書全文をモニターで提示し、抽出した部分を板書する。

視点 2

- ・語句の読みや意味確認、文の意味確認
- ・文全体を意識しながら、重要な語句を選ぶ

成果

- ・漢字の読みや文中の語句を確認することで、文中での語句の活用の仕方を意識できた。
- ・文の色分けをすることで、文同士の関係を考えることができた。

27

職業科 第2学年 コミュニケーション英語Ⅰ 「Our School Trip」



電子黒板とPCを接続し、生徒への配布資料を大画面で共有し、直接書き込んで説明する。

書画カメラで、発表内容を共有。

視点 1

- ・学習課題、英作文の条件、留意点を正しく理解し、進んで表現しようとする
- ・重要語句や表現方法を学び、表現する

視点 2

- ・文字の提示による確実な伝え合い

成果

- ・配付プリントを電子黒板に映し、教師がモニターに直接書き込むことで、生徒がすぐに理解し、メモをとることができた。
- ・聞き手の生徒は内容をつかみ、質問や感想を述べやすくなり、生徒間のやりとりが活発になった。

28

第2学年 生物基礎「遺伝子の働き」



Zoomで、自宅にいる生徒が授業に参加。
課題プリントの答え合わせは、カメラに解答を提示。
カメラの向きを変えて、順番に教科書を音読。

視点1

・情報機器を自分で設定して使い、iPad等の操作能力を高める

視点2

・手話や文字を交えて双方向でやりとりし、提示内容や意見等を確実に伝え合う

成果

・自宅にいる生徒が授業に参加でき、プリントの答え合わせ、音読などを一緒にすることができた。授業の遅れに対する不安を解消できた。

29

職業科 第2学年 数学Ⅰ「データの分析」



エクセルで作成した散布図をGoogleアプリのジャムボードに貼付し、思考を可視化して共有。

視点1

・効率的にデータを処理することで、データの傾向を把握し、事象の特徴を表現する
・エクセルで作成した散布図をジャムボードに張り付け、思考を可視化する。

成果

・エクセルで情報を処理することの良さを実感し、意欲的にデータ分析できた。
・多くのデータを効率的に処理できたことで、相関や傾向について考察する時間の確保ができた。
・相関について視覚的に共通理解することができた。

30

職業科 第2学年 数学Ⅰ「データの分析」



Scrapboxに作品をあげる。



Scrapbox内の作品に対して、コメントを載せる。

視点1

・デジタルで表現する
・参考となる資料の蓄積、活用
・意見交換の場

成果

・Scrapboxに作品をあげ、学科内の生徒で見合いコメントを載せることで、製作への意欲づけができた。他者からのコメントは励みになった。
・生徒が確認や調べたい時に自由に活用し、進んで学習できた。

31

職業科 第2学年 文書処理管理「ワードによる文書作成」



電子黒板でミラーリング

視点1

・演示と自分の操作を比較しながら、操作方法を覚える
・操作について確認しながら、自ら課題に取り組む

成果

・個別に机間巡視しなくても操作方法を一斉に伝達できた。
・ソフトの操作を演示し、その方法について解説しながらスムーズに学習が進められた。プリントによる解説よりも、実際の操作を視覚的に提示できるため、理解しやすくなった。

32

I C T 活用実践紹介

寄宿舎

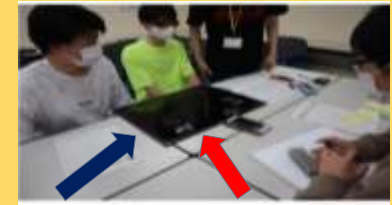


33

合同余暇活動「事前の話し合い」



スマートフォンとiPadのUDトークの機能を活用して話し合い



聴覚：UDトーク
視覚：白黒反転ボード

視点 2

- ・相手の音声を変換し、やり取りに生かす
- ・伝える方法を選んで確実に伝え合う

成 果

- ・機器を活用して、内容を確認しながら生徒同士で話し合い。伝え合うやり取りが可能。

34

交流「秋大生との交流のための事前打ち合わせ」



iPadでZoomのチャット機能と手話を
使って対話



Zoomで手話のやりとり

視点 1

- ・相手への伝わり易さを意識(位置、手話)

視点 2

- ・確実な伝え合い

成 果

- ・Zoomを活用して双方向の意見を確認し、ふかめる

35

秋田大学手話サークルとの打ち合わせ



36

調理活動



調理の様子をYouTuber風に動画撮影



iPadのYouTubeで手順を確認しながら料理

視点1 ・相手に伝える力、興味の引き方を考える

視点2 ・理解しやすい情報の活用(映像)

成果 ・動画を作成し、相手への伝わりやすさを意識する。
・一時停止機能を活用し、確認しながら料理する。

37

ひまわり学習会 「こんなときどうする～バス編～」



スマートフォンにアプリを入れて提示



こえとら



スマートフォンアプリの画面

視点2 ・自分の聞こえ方を伝え、確実なやり取りができる方法を考え、実践し振り返る

成果 ・相手にどう伝えれば良いかみきわめ、機器を活用
・援助の依頼、状況確認に活用

38

ひまわり学習会 「こんなときどうする～買い物編～」



スマートフォンにアプリを入れて提示



「これありますか」と打ち込み尋ねている

実際に活用している画面

視点2 ・自分の聞こえ方を伝え、確実なやり取りができる方法を選び、伝え合う

成果 ・機器の使い方を振り返り、伝わりやすい方法を確立

39

I C T 活用実践紹介

支援部



40

難聴児在籍校とのオンライン接続テストを兼ねた打合せ



難聴児在籍校はChrome Book、本校はPCを使い、Google Meetで実施

ICT活用 までの経緯	・担任支援のための児童の指導で使用するGoogleMeetの 接続練習を兼ねた難聴理解学習の打ち合わせ。
成 果	・打ち合わせの中で資料内容の確認も画面を通して実施可能。 移動時間等が削減 ・対面の打ち合わせて親近感up

41

児童の指導を通じた担任の支援【北サテライト教室利用児童】



難聴児童在籍校はChrome Book
本校はPCでGoogle meetを使い、
教育相談を実施

児童の様子

ICT活用 までの経緯	・コロナ感染防止のためにサテライト教室への来校を控え、 保護者がオンライン相談を希望
成 果	・コロナ感染を気にせず、児童の指導と担任面談実施 ・児童は授業を休まず、在籍校担任・聴覚担当は移動時間 なしで相談支援を実施

42

児童の指導を通じた担任の支援【南サテライト教室利用児童】

難聴児在籍校、本校ともにPCでZoomを使い教育相談を実施



本校職員と児童の様子

ICT活用ま での経緯	・保護者の事情により、サテライト教室の利用を見合わせた 児童に対して、オンラインによるリモート学習を実施
成 果	・担任が指導を参観。支援のあり方を伝えられた。

43

本校主催「聴覚障害教育担当者研修会」



参加者との接続テスト

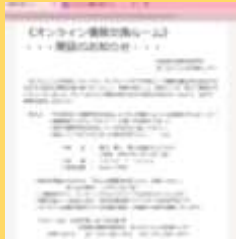
Zoomによる研修会のライブ配信



ICT活用 までの経緯	・当初本校を会場に実施予定だったがコロナ感染状況の 悪化により、オンライン開催とした。
成 果	・感染を気にせず研修会を実施できた。 ・参加者は自分の都合の良い場所、機器を使用し、気軽 に参加。

44

**今後実施予定の支援の紹介【オンライン情報交換ルーム】
： 難聴児童生徒担当者の自由な情報交換の場**



Google フォームズで
作成した担当者宛の
お知らせ

ICT活用までの
経緯

・聴覚障害教育担当者が気軽に情報交換したり
悩みや疑問を出し合える場を提供する。